

■ **科学技術賞**

み た いたる
三田 達 東京大学 名誉教授

高分子材料の物性、反応、測定、用語

三田氏は、高分子材料の熱及び光劣化機構並びに材料耐久化の研究及び関連する基礎研究として高分子固体中の各種反応（特に光反応）が固体物性等により、どのような影響を受けるかを極低温まで調べ、これらが固体構造のミクロな不均一性によるものと解釈した。その業績はフォトレジストの作成やフォトクロミズムなど電子材料関係の特性との関連で関心を惹いた。また、日本工業標準調査会（JISC）の高分子部会長、化学部会長として高分子材料の耐候性や生分解性を含む測定法、あるいは用語の標準化などに貢献した。

さらに ISO/TC61（プラスチック）/SC1（用語）対応国内委員会主査、IUPAC（国際純正応用化学連合）の高分子部会の用語および命名法委員として現在まで工業及び基礎化学での命名法や劣化を含む用語の定義の国際的共通化、標準化に取り組み、多くの成果を得ている。

（推薦団体：社団法人 高分子学会）

（所属・肩書きは推薦時 敬称略）